

崎 定 長 検

一級 さん

Vol.23

世界一のまち長崎

「こんげんまちは
えつとなかばい」

こ
しま
児島

まさ
かず
正数
さん

合格率十二・二％…。長崎歴史文化観光
検定の最難関を突破した一級ホルダー。
その卓越した識見には、なにやら一家言
ありそうです。
みづくはらんに寄稿願いました。

続々とご当地検定が誕生していた数年前、
我が長崎にも創設されなかな…と心待ちに
していました。ですから、第1回目の長崎検
定では小躍りして受験に臨んだものです。

3級、2級と通過し、いよいよ1級を受験。
ところが、2級までの内容と段違いのレベル
に悪戦苦闘。答案用紙の半分を埋めるのが
やっとと言つ有様で、結果は当然ながら不合格。
あきらめきれずに翌年も受験しましたが、あ
えなく撃沈。3回目の1級検定はどうとう不
戦敗と、自分には無理かなと観念していま
した。

その頃、福岡勤務で週末長崎に帰ってくる
という生活でしたが、平成22年7月に念願か
なつて長崎に転勤となりました。せつかく長
崎に帰ってこられたのだから、これを機会に
いろんな所に行つてみよう、様々なことを学
んでみようという思いが胸に去来し、まずは
長崎のことをきちんと知ることから始めよう
と、一度は断念した1級への再チャレンジを
決心しました。

あり難いことに、久しぶりに地元に戻った
私にとって、すばらしい方々とのたくさんの方
の出会いがありました。どちらかというと、机

上での勉強よりも、フィールドワークや夜の
コミュニケーションの場で、検定に必要な知
識を習得させて頂いたような感じです。改め
て、「じげもん」の温かさを痛感した次第です。
そうして、やつとの思いで手にした1級の
合格証。合格の感激に酔いしれていたのもつ
かの間、待ち受けていたのは「おうち1級や
けん、何でも知つとるやる。ちよつとこいば
教えてくれんへ」という仲間からの質問の嵐。
その度に、合格は決してゴールではなく、ス
タートラインであると実感しております。プ
レッシヤァ(?)に負けないよう、長崎のこ
とをもっと学ばんばという思いが一層強くな
りました。

ここにあるのでしょうか。大田蜀山人の狂歌を
もじると「こんげんまちはえつとなかばい」
と言つても過言ではありません。
この7月から再び週末のみ長崎生活になり
ますが、平日は他所で長崎の魅力を発信し、
週末は長崎のことをもっと学習することで、
1級合格者の名に恥じないよう、微力ではあ
りませんが、長崎の発展にお役に立てればと
思っております。

長崎検定1級は私にとってのライフワーク
とは何かを改めて気付かせてもらった、かけ
がえのない宝物です。末筆ながら、改めて先
輩方のご指導をお願いさせて頂くとともに、
これから合格者の輪がより広がることを心
より祈念しています。今後ともよろしくお願
いします。



【プロフィール】

昭和48年生まれ。九州電力(株)
勤務。生まれも育ちも長崎の
「じげもん」。三度の飯よりく
んちが好きな「くんちバカ」。最
近は役員に選任されたことを
きっかけに自治会活動の修行中。